

進化長崎!!

特集

市民

市政

プレゼント

生活情報

健康

子育て

被爆者援護

福祉

講演・講座

もよおし

おしゃせ

募集

長崎版のまちづくり

20年後（平成47年）、長崎市の人口は約35万人に減ることが予測されています。人口が減ると、人口密度が下がり、人通りやお店が減り、公共交通に影響が出るなど、さまざまな問題が起こることが予想されます。そのような中でも、安全で暮らしやすいまちを維持していくためには、「ネットワーク型コンパクトシティ長崎」の考え方方が大切になります。

ネットワーク型



みんなが暮らしに必要な機能を利用できるようにつながりをつくる

コンパクトシティ



人が集まりやすいところに暮らしに必要な機能をまとめる

ネットワーク型コンパクトシティ長崎

少子化・高齢化や人口減少によって全国的にさまざまな問題が起きている中で、安全で暮らしやすいまちをつくっていくために、昨年12月、20年後の長崎のまちづくりの設計図となる「都市計画マスターplan」を改訂しました。「ネットワーク型コンパクトシティ長崎」とは、都市計画マスターplanで示している、これから長崎市が目指す「まちの姿」であり、まちづくりのキーワードです。

コンパクト

●都心部、都心周辺部
一番人が集まりやすい場所のため、いろいろな症例に対応できる病院や、暮らしを豊かにする大型図書館、美術館、デパートなど、市内に1つは必要な都市機能を持たせます

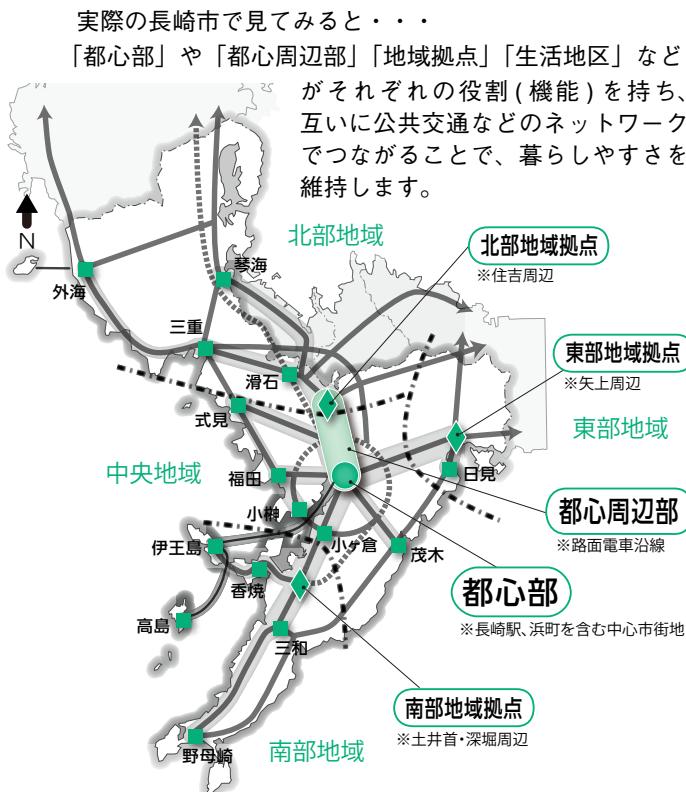
◆北部、東部、南部の地域拠点
都心部や都心周辺部に次ぐ規模の病院や、大型スーパーなど、地域に1つは必要な都市機能を持たせます

生活地区

かかりつけの診療所や日用品店など日常生活に必要な都市機能があります

ネットワーク

上の地域や地区を公共交通や道路などのネットワークでつなぎ、みんなが暮らしに必要な機能を利用できるようにします



これからどんな風に進んでいくの？

暮らしやすさをつくっていくために、これから時間をかけて次の準備を進めます。

- 集まりやすい場所にある施設を、みんなで利用して維持していく
- 必要な施設を維持していくために、周辺の安全で暮らしやすい場所にまとめて住む
- 地域や地区をつなぐ、生活の足となる公共交通を利用して、維持していく
自分たちが住むまちの活動に当事者として参加することで、まちはもっと暮らしやすくなります。みんなで一緒になって暮らしやすいまちをつくっていきましょう！

ご意見をお待ちしています

「ネットワーク型コンパクトシティ長崎」のまちづくりを実現するための取り組みのひとつとして、「立地適正化計画」をつくる予定です。それに関する市民説明会、パブリックコメントの募集（33ページに掲載）を行いますので、みなさんの意見をお聞かせください。

【問い合わせ】
都市計画課
☎ 829-1169